

英語専攻科

科目名			
基礎会話表現			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	8単位	4単位/学期×2学期	日本語・英語
科目のねらい			
① 受信力（リスニング）と発信力（スピーキング）の向上。 ② リスニングの基本的なスキルの習得。 自分の言いたいことを英語で発信するためのスピーキングの訓練をおこないながら、基本的なオーラルコミュニケーションのスキルを磨いていく。また、正確に要旨を聞き取り適切に応答する訓練をおこないながら、自分から発信できる能力を身につける。			
科目内容			
日本人教員・ネイティブ教員による授業が1コマずつ行われる。			
① テキストのタスクをこなしながら、同時にビデオで実際のシチュエーションを確認し、発話訓練をする。			
② 様々な日常生活の英語表現について、基本的な英語表現を定着させる。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	Basic- Intermediate: 『Daily English』 小野田 榮著（金聖堂） Advanced: 『ストーリーで学ぶDVD英会話ビジネス Story 1』 井 洋二郎他著（旺文社）		

科目名			
英語基礎演習(文法・単語)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
英語の基礎力となる英文法やボキャブラリーの力を付け、同時にそれらを応用して英会話の基本表現や英文ライティングスキルの習得を目指す。言いたい事や意見を自由に伝えられる「使える英語」の基礎力の習得を目指す。			
科目内容			
英文法は、名詞、形容詞、動詞、文型、時制、疑問文、助動詞、不定詞、比較級、副詞などの基礎的な文法事項を取り扱う。「読む」「書く」「話す」に応用できる基礎的なボキャブラリーを身に付ける。			
テキストを使いながら、各文法項目について例文を覚えて習得する。			
ボキャブラリーは、文章だけでなく、音でも聞き取れるように、毎回、英文の聞き取りテストを実施して定着させる。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	Advanced: Milada Broukal, <i>Communicate with Grammar</i> , McMillan Language House Intermediate: Hashemi/Murphy, <i>English Grammar in use Supplementary Exercises</i> , Cambridge University Press Basic: 『ゼロからスタートライティング』 魚水 憲著（Jリサーチ出版）		

科目名			
資格検定試験対策			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
TOEIC・英検・国連英検・ボランティア通訳検定・観光英検等の検定試験の取得を目指す。各試験の試験内容（級別）や勉強方法について学びながら、自分のレベルにあった試験や級の対策をする。			
科目内容			
それぞれの試験の実施スケジュールに合わせて、過去問題を使いながら問題形式と出題傾向を理解する。試験問題を解きながら、リスニング、リーディング、語彙、文法力などを強化し、総合的な英語力を強化していく。実際に各試験の過去問題を解きながら、それぞれの試験の傾向と対策をつかむ。毎回小テストを実施して、習熟度を測る。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	プリント（過去問題）		

科目名			
基礎通訳演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
基礎的な通訳技能を習得し、通訳訓練の方法を知ること狙いとす。ボランティア通訳検定B級（日本通訳協会主催）に合格することをめざす。			
科目内容			
基礎的な通訳トレーニング法を用い、通訳の基本となるスキルを身につけ、リスニング・スピーキングほか総合的な英語技能を向上させる。ニュースやインタビューなどの実践的な教材を使って進めながら、実際の通訳に似たシュミレーションの機会を設け、基本的な通訳のスキルを習得する。テキストを使いながら、スラッシュ・リーディング、サイト・トランスレーション、リピーティング、シャドーイング、ノートテキング（メモ取り）、の訓練をする。毎回小テストを実施して、習熟度を測る。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	Advanced-Intermediate: 『ニュースダイジェストビギナーズ』 ジャパンタイムズ発行 Basic: 『決定版英語シャドーイング』 門田修平・玉井健 共著（コスモピア）		

科目名			
基礎翻訳演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
英語と日本語の構造・表現の違いを理解することにより、基本的な文法力・長文読解力を強化させる。同時に、翻訳作業において必要とされる正確な日本語を習得する。			
科目内容			
様々な例文を読み、その内容を理解し、基本的な翻訳のルールと英文を日本語に訳す際に必要な基礎的な翻訳のスキルを習得する。教材はテキストの他に新聞記事、小説、エッセイ、映画のシナリオなど、必要に応じて選択し、テキスト（教材）に関連した一般知識を併せて学ぶ。テキストの例文をしっかりと覚えながら、練習問題を解いていく。毎回小テストを実施して、習熟度を測る。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	『翻訳入門—英日編』 中林 眞佐男他共編著 (大阪教育図書)		

科目名			
発音クリニック			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
基本的な英語のリズム・イントネーション・音変化の基礎を学び、ポイントとなる音の発音練習をする。同時にネイティブの自然な発音をそのまま理解できるレベルに近づくことを到達目標とする。			
科目内容			
音記号の読み方を学びながら、正しい発音の仕方を確認する。英語の発音を母音・子音、音節、アクセント、連続発話において習得する。音変化、リズムとイントネーションなどについて体系的に学び、正確な発音ができるようにする。まず正確な個々の音の出し方を、実際に声を出して発音練習しながら、同時に英語のリズムとアクセントの感覚を習得する。毎回小テストを実施して、習熟度を測る。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	『やさしい英語の発音』原岡 笙子著（語研）		

科目名			
スピーチクリニック			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
ディクテーションとシャドーイングというトレーニング方法を用いて英語の音を身につけ、正しくきれいに英語を話せる力を強化する。			
科目内容			
パブリック・スピーキングの基本を学習する。まず、実際のスピーチを聞いて練習を通じて、スピーチの基礎となるイントネーションや正しい発音を習得。発音やリズム・イントネーションやストレス・声の抑揚・目線などデリバリーの仕方について、また、人前で英語でスピーチをする基本的なスキルを習得する。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	『スピーチクリニック』神田外語学院オリジナル教材		

科目名			
イギリス文化理解			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
①イギリス文化を知る。 ②英語力を向上させる。 ③ブリティッシュ ヒルズ研修時に授業で習得した知識と英語力を生かす。			
科目内容			
イギリスの地理、歴史、文化、習慣、マナー、日常生活を学びながら、イギリスやイギリス人についての理解を深める。語学のみを覚えるのではなく、その言語の背景を学ぶことにより、より深く日本や日本人との違いを理解できるように努める。その結果、より良いコミュニケーションを取ることができることに気付く。課題発表、レポート作成が求められる。			
成績評価	テキスト		備考
出席、記述試験、課題発表、授業参加状況などをもとに総合的に評価する。	『Cultural Walks in Britain』和久 豊、Bill Benfield共著（成美堂） Advanced補助教材：『The Unchanging Face of Great Britain』Christopher Belton、廣田 典子共著（金星堂）		

科目名			
アメリカ文化理解			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	2単位	2単位/学期×1学期	日本語
科目のねらい			
①基本的なアメリカ文化についての知識を習得する。 ②英語による文献を読むことにより、リーディング力を向上させる。 ③グローバル社会の多様性を学び、各学生の進路に生かす。			
科目内容			
1学期に学習したイギリス文化理解に加え、アメリカの地理、歴史、文化、習慣、マナー、日常生活を学びながら、アメリカやアメリカ人についての理解を深める。語学のみを覚えるのではなく、その言語の背景を学ぶことにより、より深く日本や日本人との違いを理解できるように努める。その結果、より良いコミュニケーションを取ることができることに気付く。課題発表、レポート作成が求められる。			
成績評価	テキスト		備考
出席、記述試験、課題発表、授業参加状況等をもとに総合的に評価する。	『A Changing America in a New World』 William M. Balsamo、廣田 典子共著 (金星堂) Advanced補助教材：『Experience America!』 Todd Rucynski, Scott Berlin著 (金星堂)		

科目名			
スピーチ&ディスカッション			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
スピーチやディスカッションのトレーニングを通して、自分の考えや意見を的確に伝えられるようにする。			
科目内容			
自分の意見を適切な語句を用いて表現する練習をしながら、様々なトピックスを題材にして英語でスピーチをしたり、ディスカッションをする。各ディスカッション、スピーチの前にはテーマに関連した教材を読み、必要な用語や表現を学ぶ。ペアを組んでの会話練習や小さなグループに分けてのディスカッションを行う。スピーチや読書感想文を書く練習をし、それらを発表する。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、受講態度20%、発表内容60%	ハンドアウト		

科目名			
英語プレゼンテーション演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語・英語
科目のねらい			
英語による実践的なプレゼンテーションスキルの基礎知識を習得して、実際に英語でプレゼンテーションができるようにする。			
科目内容			
授業では英語のみならず、視聴覚機器やプレゼンテーションソフトの効果の使い方や効果的な発表のテクニックを習得する。授業で実際にプレゼンテーションを行いながら、英語でのプレゼンテーションスキルを習得する。コンピュータ（パワーポイント）を使用して、実際のビジネスプレゼンテーションをシュミレーションしながらプレゼン演習を実施する。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、小テスト20%、受講態度20%、期末試験40%	ハンドアウト		

科目名			
メディア・イングリッシュ (国内・海外)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
国内外のニュースを英字新聞・英語ニュース (テレビ) の両方で 文章でも音声でも理解できるようにする。			
科目内容			
国内外のニュースを題材として、リスニング力、スピーキング力及び読解能力をつける。題材とするニュースについては、トピックスごとに内容や背景知識、語句を理解するのに必要となるキーワード・言い回しを覚えながら、実際の英語ニュースを英字新聞 (文章) でもテレビ (音声) でも理解できるようにする。英字新聞、インターネット、DVD等の生の題材を取り上げ、最新のニュースを文字・映像・音声を翻訳・通訳する。毎回、各自好きな題材を選んでレポートを提出する。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・期末試験・発表60%	ハンドアウト		

● 通訳専攻科目

科目名			
通訳演習 A			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
通訳技法の基本スキルをもとに、ビジネスでの接待通訳や社内通訳等、実践的な通訳場面に対応できる実践的な通訳スキルを習得する。			
科目内容			
①通訳トレーニングで必要とされる英語の高度の運用能力 (リスニング、スピーキング) や日本語の説得力ある語法を習得する。 ②話し手の要点と考えを正確に迅速に把握する能力や英語と日本語の置換技術などの総合的な通訳のスキルを身につける。 ③実践的な音声教材やビデオ教材を用いて、長文のシャドーイング、ディクテーション、メモ取り、要点把握、原文再生、概要通訳、逐次通訳等の訓練をする。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、小テスト20%、受講態度20%、期末試験40%	ハンドアウト		

科目名			
通訳演習 B			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
通訳技法の基本スキルをもとに、ビジネスでの接待通訳や社内通訳等、実践的な通訳場面に対応できる実践的な通訳のスキルを習得する。			
科目内容			
①同時通訳のシュミレーションを通して、クイックレスポンスの演習を行う。 ②最新のニュースやトピックスを取り上げながら、講義よりも演習に重きを置き、通訳トレーニングを行う。 ③色々な通訳の場面を想定し、シュミレーションを何度も繰り返しながら、一人一人が同時通訳の演習を行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、期末試験40%	ハンドアウト		

● 翻訳専攻科目

科目名			
翻訳演習 A			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
「基礎翻訳演習」を基礎にして、より実践的な翻訳技能を身につける。			
科目内容			
英語で書かれた書籍を日本語に翻訳する「出版翻訳」や、企業などの業務で必要とされる文書を日本語から英語に英語から日本語に訳す「実務翻訳」、そして新聞・雑誌などの紙媒体から映画、テレビ、インターネットなどの書籍以外の媒体を翻訳する「メディア翻訳」などの翻訳スキルを習得する。日本語の使い方にも注意を払うことで表現力も身につけていく。講義よりも演習に重きを置いた授業で、実践力を養う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、小テスト20%、受講態度20%、期末試験40%	ハンドアウト		

科目名			
翻訳演習 B			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
英文読解力の養成や、日本語表現力の養成、また、英語の背景にある考え方の理解を目標とし、新聞記事、雑誌、シナリオ、スピーチなど多種多様な英文の翻訳ができるようにする。			
科目内容			
1年次の「基礎翻訳演習」で得た翻訳技法の演習を中心に、国内や国際問題で注目を集めている出来事に関するニュース記事、論評を教材にして、政治経済、文化、社会、科学技術等の各分野における日英翻訳の実践演習を行う。履修者は毎回与えられた課題の翻訳文を提出する。講義よりも演習に重きを置いた授業で、実践力を養う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、期末試験40%	ハンドアウト		

● 英語ビジネスキャリア専攻科目

科目名			
ビジネス・キャリア開発			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
卒業後に、国内、海外の企業・外資系企業のビジネス現場で通用する自立型人材の育成。			
科目内容			
①キャリア・ビジョンを明確にし、それを実現するための方法・手段＝戦略を持つ。 ②進みたい仕事の明確な方向性を自分自身で設計し、行動プランを立てる。 ③国際化社会で自己啓発をはかれる人材の育成。 資料収集、情報提供のプレゼンテーション。キャリアとビジョンについてはワークシート提出。			
成績評価	テキスト		備考
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表20%、授業貢献10%	ハンドアウト		

科目名			
ビジネス英語演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
あらゆるビジネスシーンを想定した会社の英語表現の習得。			
科目内容			
<p>①ビジネスレター作成上必須の英文法をマスターし、英文が作成できる。</p> <p>②ビジネスシーンにおける適切な会話ができる。</p> <p>③e-mail作成が正しくできる。</p> <p>想定したビジネスシーンに合わせてストーリーを展開、それを基に英語表現を考えさせる。タスクベース方式にて行う。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表20%、授業貢献10%	『国際ビジネスプロフェッショナルグローバルビジネスの「一般常識」を学ぶ』アリス・インスティテュート編(日本経済新聞出版社)		

● 大学編入専攻科目

科目名			
英語集中演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
それぞれの志望する大学に合格できる英語の総合力を身につける。			
科目内容			
神田外語大学及び他大学の編入試験に合格する為の英語力を強化する為にレベル別にクラスを編成して授業を実施。徹底的な演習を繰り返すことで、文法・長文読解・和訳・英訳の演習を基礎から上級レベルまで行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席20%、小テスト30%、学期末試験50%	ハンドアウト		

科目名			
大学編入試験対策			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	6単位	2単位/学期×3学期	日本語
科目のねらい			
小論文の書き方・面接の受け方など、大学編入試験に備えた十分な対策を行う。			
科目内容			
①専門学校からの大学編入の利点・欠点を理解し、編入に向けての有効な計画を立てることが出来る。 ②日本語小論文の内容構成要素やパターンを理解し、それに基づいて小論文を書くことが出来る。 ③日本語面接対策として、自分の考えをまとめ、例話を添えながら分かりやすく構成して話すことができる。 授業は講義形式で、小グループ活動を交えて行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表30%	ハンドアウト		